

屋久島農業普及だより

【編集発行】

屋久島事務所農林普及課農業普及係

屋久島町安房650 TEL:0997-46-2236 FAX:0997-46-3384

平成28年度新規就農者励ましの会を開催

7月26日に町営農支援センターで、地区農業改良普及事業協議会主催による新規就農者励ましの会が開催され、青年農業者育成に尽力いただいている指導農業士、女性農業経営士を始め、認定農業者や関係機関を含め50名程度が出席し、屋久島の農業を支えていく新たな仲間を歓迎しました。

本年度の新規就農者は、岩川篤浩さん（小島、野菜経営）と鎌田智美さん（麦生、果樹+野菜経営）の2名。

お二人からは、「地域の先輩達のアドバイスをいただきながら、経営安定につなげていきたい」と今後の農業経営に対する抱負が語られ、先輩農業者からは、「地域農業の貴重な担い手。迷ったら何でも相談し、情報交換を密にして欲しい」とエールが送られました。

就農された方が早期に経営を確立し、地域農業の担い手として活躍されるよう、農業普及係では、関係機関と協力しながら、技術・経営等の支援を行ってまいります。



〈岩川篤浩さん：前列右から3番目、鎌田智美さん：前列左から2番目〉（担当：眞正）

効果の高いばれいしょ疫病の防除体系

屋久島地域における27年度産ばれいしょは、疫病が大発生し、例年と比較して30%以上も減収したほ場もありました。次年度栽培では、ほ場内に病原菌が残っている状況であるので、雨が続くような気象条件となれば、疫病が発生しやすい状況です。



そこで、防除効果の高いばれいしょ疫病の防除体系について紹介します。

図のように、ばれいしょの生育ステージや薬剤の特性(表1)を考慮した2週間間隔3回散布の予防剤防除体系は効果が高いことが明らかとなっています。出芽が揃ってから2週間後にAグループの農薬を散布(1回目)、2週間後にBグループの農薬を散布(2回目)、さらに2週間後にCグループの農薬を散布すると効果が高くなります。

また、例年より降雨が多く、A~Cグループの薬剤を散布しても疫病を抑えることができなかった場合には、Dグループの感染拡大を抑える薬剤を使うとよいです。

＜ばれいしょ疫病被害状況＞

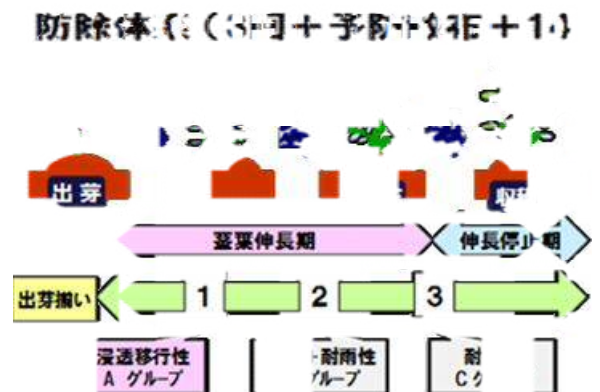


表1. 疫病防除体系に適用できる殺菌剤

グループ	特徴	薬剤名
Aグループ	散布後に伸長した茎葉(薬剤が付着していない部位)にも成分が浸透移行する薬剤	フォリオゴールド リドミルゴールドMZ
Bグループ	疫病発生時に対応可能で14日間の長期残効が期待でき、症状を抑え、耐雨性が高い薬剤	ホライズンDF リライアブルフロアブル ザンプロDMフロアブル
Cグループ	茎葉伸長がほぼ停止する時期に仕上げ剤として長期残効が期待できる耐雨性が高い薬剤	ダコニール1000 ジマンダイセン水和剤
Dグループ	例年よりも降雨が多いなどの天候不順時にA~Cグループの薬剤で疫病の発生を抑制できない場合にスポット的に使用し、感染拡大を抑える薬剤	ベトファイター顆粒水和剤

*斜体の殺菌剤は新規登録農薬

(情報提供：農業開発総合センター病理昆虫研究室)

(担当：入料)

健康な子牛育成に心がけよう！

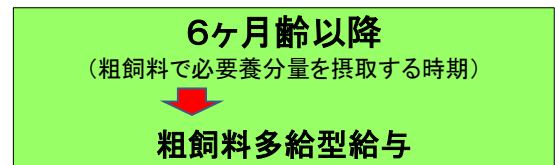
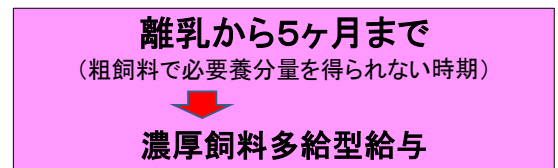
最近の子牛せり市市況を見ると、市場平均価格で1頭70万円が続いている状況です。高値で取引されている今こそ、飼養管理技術や牛舎環境、経営内容などを見直し、相場が変動しても耐える技術や経営の対策を行うことが必要です。

今回は、健康な子牛育成に心がけ、平均以下の子牛を作らないポイントを紹介します。

1. 必要な飼料給与

- ① 初乳は24時間以内に必ず与えること
- ② 粗飼料給与は2ヶ月目から少しずつ与える
- ③ えづけ飼料は高タンパクで、子牛の健康、発育には重要
- ④ 3ヶ月目まではえづけ飼料を給与する
- ⑤ 4ヶ月目からは子牛飼料を給与する

良好な発育を得るためには



2. 新鮮な水給与

牛が水を飲むことは、暑いからではなく、胃の中の酸度調節など、生きるために必要なことです。

- ① ミルクを飲んでいても、水を飲む
- ② 濃厚飼料、粗飼料を食べるときは欠かさず飲む

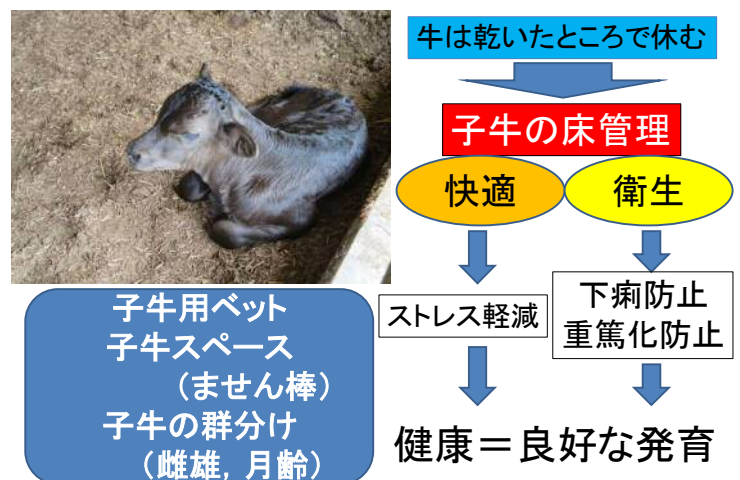
飲水は牛の命です。新鮮な水が飲める状態にしてあげましょう。

3. 快適な子牛環境づくり

環境づくりは健康作りです。

- ① 牛床は常に乾いた状態を保つこと
- ② のこくずなどの敷料を使い、早めに交換するなどして、衛生対策に心がける
- ③ 扇風機などを使い、空気の対流を促す
- ④ 子牛スペースを確保し、安心して過ごせる場づくりに心がける

乾いた敷料，早めに交換を



飼育環境や飼養管理で、工夫したいと感じたら、

ぜひ、屋久島事務所農林普及課までご相談ください。

(担当：徳田)

6次産業化に取り組む前に・・・

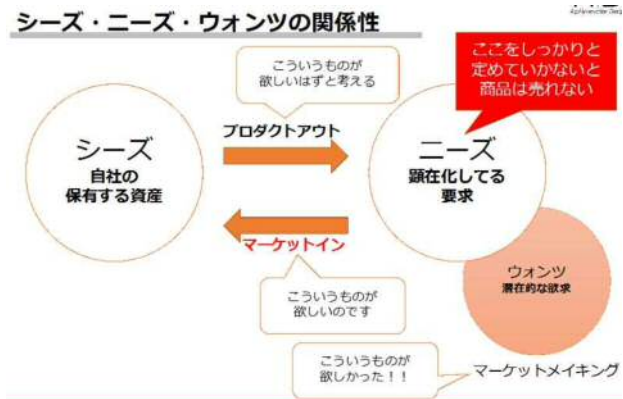
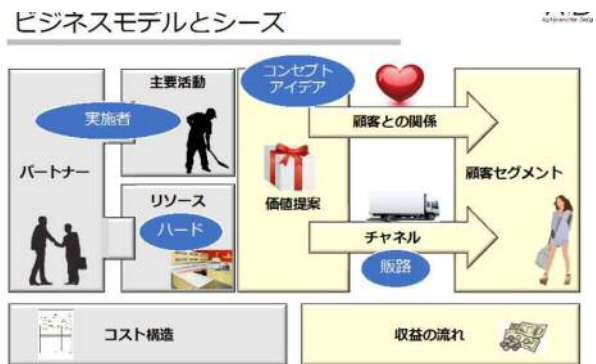
■ 6次産業化のメリット

6次産業化は、生産者にとっては、販売価格を自分で設定できること、自慢の産物の良さを最大限にアピールできること、地域限定の産物を活用することで差別化ができること、季節感あふれる商品が提供できることなどにより、年間を通じた所得の確保や雇用の創出が可能となります。

■ 注意したいこと！消費者ニーズとビジネスモデルの構築

しかし、販売の現場では、類似商品が多く流通し、激しい競争が行われており、「良い商品を作れば売れるはず。」「誰にでも愛される商品を作りたい。」といった生産側の視点ではなかなか売れません。消費者ニーズに沿って「誰に」対して、「何を」提供するののかといった**事業コンセプト**を考え、その上で「どのように」生産し、「どのように」加工し、「どのように」販売するののかといった**ビジネスモデル**を考える必要があります。

つまり、6次産業化では、出口をきちんと見据え、マーケットを見ながら市場が望む売れる商品を作る新しい事業展開が肝要です。



＜H27屋久島自然の恵みチャレンジセミナーにおける脇坂真史6次産業化プランナーの講演資料より抜粋＞

マーケティング≡ ニーズの把握

＜把握すべく3つ＞

- ①誰に ②何を ③どのように

商品開発の流れ

- (1) 誰（ターゲット）のどんなニーズ（不満・欲求）を解消したいのか？
- (2) そのために、何を提供（価値・商品）できるのか？
- (3) それを作るためには、どんな制約（ハード）があるか？
- (4) それをどんな方々とどこで作れるか？
- (5) 出来あがったものをどうやってターゲットに届けるか？
- (6) 届いたものをその後もどうやって満足してもらうか？



■ 怠ってはならない経営管理

6次産業化では、初期投資や雇用の確保など経費が増大します。生産基盤を確立し、複式簿記の記帳、法人化などをすすめ、「損をしない経営」「身の丈経営」を目指しましょう。

（参考図書：H28鹿児島県6次産業化サポートセンター作成資料）

（担当：上福元）

「かごしまの味」とは？

平成28年1月に県民が主体となって県を代表する郷土料理等28品（鹿児島県全域18品，奄美地域10品）が「かごしまの味」として制定されました。（詳細は、「かごしまの食ウェブサイト」をご覧ください。）

<鹿児島県全域>

- ◆主食（ご飯もの） からいもご飯，酒ずし，さつますもじ
- ◆主菜・副菜（おかず）汁もの さつま汁，豚汁，へチマ汁
- ◆主菜・副菜（おかず） がね，きびなごの刺身，つけあげ，鳥刺し，豚骨
- ◆郷土菓子 あくまき，からいもねったぼ，かるかん
げたんは，じゃんぼ餅，白熊，ふくれ菓子

<奄美地域>

- ◆郷土料理 油ゾーメン，鶏飯，三献，パパイヤ漬け，豚骨野菜，豚みそ
ミズイカのマダ汁
- ◆郷土菓子 かしゃもち，黒糖，みき（ミキ）

屋久島町でも9月8日に郷土料理の研修会(食の文化祭)を女性農業者を対象に予定しています。多数の御参加お待ちしております。

(担当：上福元)

県立農業大学校へ進学しませんか？

県立農業大学校では、平成29年度学生を募集しています。詳しくは農業大学校（日置市吹上町和田1800／TEL099-245-1071）または屋久島事務所農林普及課までお問い合わせください。※ホームページからご覧になれます。

1 募集概要

◇養成部門

農学部（野菜科，花き科，茶業科，果樹科）

畜産学部（肉用牛科，酪農科，養豚科）

◇研究部門

農学部（農業研究科），畜産学部（畜産研究科）

2 入学試験日程

◇養成部門

推薦入試：平成28年10月5日（受付期間：平成28年8月26日～9月16日）

一般入試（A日程）：平成28年11月22日（受付期間：平成28年10月7日～11月2日）

〃（B日程）：平成29年2月1日（受付期間：平成29年1月4日～1月23日）

◇研究部門

一般入試（A日程）：平成28年8月31日（出願期間：平成28年7月11日～8月1日）

〃（B日程）：平成28年12月7日（受付期間：平成28年11月10日～11月24日）

(担当：眞正)

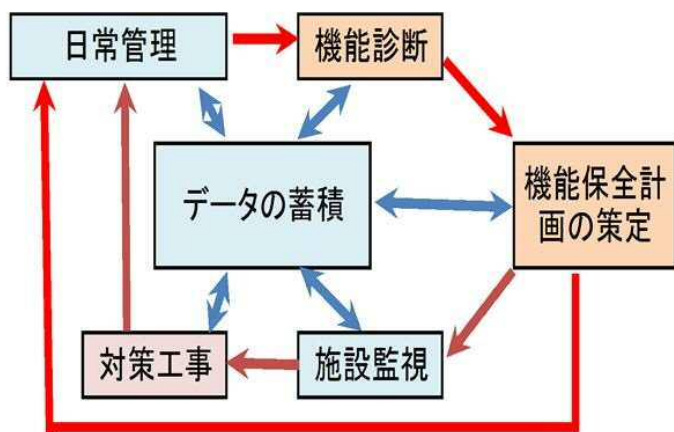


老朽化する土地改良施設の長寿命化対策のため、 施設の補修・更新事業を今後行います。

屋久島で利用されている土地改良施設の水利施設や農道等の点検を行い、老朽化した設備を長く利用するため、施設の補修・更新を行い長寿命化を図ります。

本年度から、基幹水利施設の屋久島南部地区で畑地かんがい施設（取水施設・パイプライン施設・管理施設）、幹線農道の松峰大橋で塗装や橋面舗装等の補修・更新整備を予定しております。

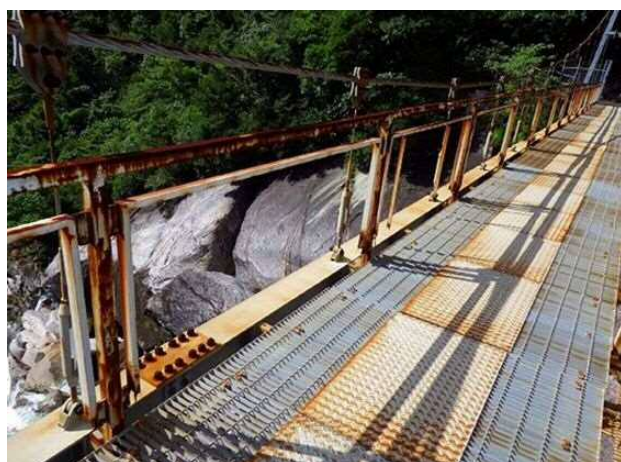
長寿命化対策のイメージ図



取水施設



パイプライン施設（FP）



管理施設



松峰大橋全景

